

日本青年団 新聞

8

2015年 月1日発行
第100巻 第8号

編集・発行 日本青年団協議会

〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-23-6

秀和虎ノ門三丁目ビル4階

TEL 03-6452-9025

大正5年2月10日第三種郵便物認可（毎月1回1日）

振替口座 00140-6-37229

年間2,200円 1部200円（送料・消費税込）



集会で照屋会長があいさつ（左上）、納沙布岬での記念撮影（左下）、感想交流は和やかに進行した（右上）、参加者も積極的に発言する（右下）

CONTENTS

COVER STORY

四島返還めざし声上げ続ける 2 ページ

ACTION

◆紅花でつながる青年と町民（山形県） 3 ページ

◆スポーツで仲間づくり（東京都）

◆子どもの笑顔が原動力（福井県）

◆熱い思いカヌーに込める（滋賀県）

◆青年団の必要性を実感（鳥取県） 4 ページ

◆団員相互で意欲高める（宮崎県）

◎連載企画 わたしと教宣 vol.2

INFORMATION

OPINION「スポーツの裾野ひろげよう」 5 ページ

FOCUS

ふりかえるあの日のふるさと 6～7 ページ

BREAK TIME

◎連載企画 イケ団 8 ページ

◎クロスワード ほか

—四島返還めざし声上げ続ける—

7月18日～19日にかけて、「第46回北方領土復帰促進婦人・青年交流集会」が、北方領土の元島民が多く居住し、北方領土返還要求運動発祥の地といわれる北海道根室市で開催された。この集会は日本青年団協議会と全国地域婦人団体連絡協議会の共催で、46年目を迎えた。

現在、北方四島で生まれた元島民の平均年齢は80歳を超え、2013年度末時点での元島民の数は6,596人と、ふるさとに帰りたいという願いが叶わぬまま半数以上の元島民が亡くなっている。一刻も早くふるさとを取り戻すために多くの参加者が集い、学び、決意を新たにしたい今集会の様子をお伝えする。